



こうごしま 議会だより No.175

平成30年2月21日 発行／神津島村議会 編集／議会だより編集委員会 ☎04992(8)0011
議会だより編集委員会 委員長 中村親夫 副委員長 鈴木佑典 委員 石田高道 委員 松江孝雄
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp

●●● 村議会傍聴のご案内 ●●●

議員の活動や、村政方針及び考え方を知ることが出来る場、それが本議会です。
神津島村議会は皆様の傍聴をお待ちしております。



平成30年議会現場視察

目次

- ◇平成29年第2回臨時会・平成29年第4回定例会 2
議決結果、審議された議案
- ◇平成29年第4回定例会 3
審議された議案
- ◇平成29年第4回定例会 4～5
2名の議員が一般質問
- ◇その他 6
議会現場視察、議会日誌、編集後記

平成 29 年第 2 回神津島村議会臨時会 議決結果

開会日：11月9日(木)

議案番号	議 案 件 名	審議結果
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第37号	平成29年度東京都神津島村一般会計補正予算(第4号)	原案可決

平成 29 年第 4 回神津島村議会定例会 議決結果

開会日：12月5日(火)

議案番号	議 案 件 名	審議結果
議案第38号	神津島村ゲートボール場設置等に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第39号	平成29年度東京都神津島村一般会計補正予算(第5号)	〃
議案第40号	平成29年度東京都神津島村簡易水道特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第41号	平成29年度東京都神津島村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第42号	平成29年度東京都神津島村農業集落排水特別会計補正予算(第2号)	〃
議案第43号	平成29年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃

平成29年第2回 神津島村議会臨時会

◎ 審議された議案 ◎

承認第3号

専決処分の承認を求めることについて

平成29年度東京都神津島村一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ2百10万円追加するもの。

質 1 番 鈴木国忠君

衆議院議員選挙で、開票立会人報酬7万円は、何名分なのか。

投票立会人報酬3万4千円は、何名分なのか。

答 総務課長 清水豊君

開票立会人は7名分。投票立会人は2名分。



議案第37号

平成29年度東京都神津島村一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ4千4百万円追加するもの。

質 3 番 清水勝彦君

長浜ドンタク広場復旧工事の内容は。

答 産業観光課長 清水一正君

台風の影響により、炉が埋没したため砂の撤去。テーブル、椅子等の修繕。

質 4 番 中村親夫君

赤崎遊歩道災害復旧工事、来年の夏季までに復旧するのか。

答 産業観光課長 清水一正君

来年の夏季前には、復旧工事を完了させる。

質 7 番 松江孝雄君

温泉保養センター災害復旧工事、完了時期は。

答 産業観光課長 清水一正君

3月中に完了予定。

平成29年第4回
神津島村議会定例会

◎審議された議案◎

議案第38号

神津島村ゲートボール場
設置等に関する条例を廃
止する条例

土地賃借人に返還が完
了したことに伴い条例の
廃止。

議案第39号

平成29年度東京都神津島村
一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ3千
5百82万4千円追加する
もの。

質―2番 鈴木佑典君

観光・防災拠点Wi-Fi

Fi保守費の減額理由は、

答―情報通信室長 鈴木敦君

当初は庁内のサーバー

とは別の遠隔サポート費

用として計上。平成28年

度を実施した情報セキュ

リティー強化対策に伴

うネットワークの分離、

6月と11月に実施した自

治体セキュリティクラ

ウドへの接続によりシス

テムが変更となり、その

保守と合わせて観光・防

災拠点Wi-Fiの保守

が可能となり、全体保守

として実施したため減

額。

質―7番 松江孝雄君

村税、固定資産税の滞

納繰越分の追加理由は、

答―企画財政課長 鈴木龍也君

滞納者に対し納税計画

を立て納税する見込みが

立ったため、追加。

質―1番 鈴木国忠君

教職員住宅測量設計委

託料、これは何名規模の

住宅を計画しているの

か。



答―教育課長 高橋寛規君

防風住宅の老朽化に伴

い新たな場所に建て替え

る。60平米程度の部屋を

12戸の予定。教職員の人数

等によって最終確定。

質―2番 鈴木佑典君

防災行政無線バッテ

リー交換委託料とは。

答―総務課長 清水豊君

年次点検を行い、村内

のスピーカー21カ所の

バッテリー交換を行う。

質―6番 関 真樹君

消防団装備消耗品費等

の追加理由は、

答―空港消防所長 石田修治君

村の南側半分のホース

点検を実施。破損ホース

等があり、新たに追加。

質―7番 松江孝雄君

ジュリア祭顕彰会補助

金の追加理由は、

答―産業観光課長 清水一正君

クリスマスミサにおい

て、教会に集まる方に、

パンフレットを増刷して集

客活動を行うため追加。

質―5番 石田高道君

多幸湾公園の施設利用

料の追加理由は、

答―産業観光課長 清水

一正君

利用者数が、増えたこ

とに伴い追加。

議案第40号

平成29年度東京都神津島
村簡易水道特別会計補正
予算(第2号)

歳入歳出それぞれ百12
万5千円減額するもの。

質―3番 清水勝彦君

簡易水道量水器の減額

理由は、

答―環境衛生課長 桜井隆明君

競争入札を行い、単価

が下がったため減額。

議案第41号

平成29年度東京都神津島
村国民健康保険特別会計

補正予算(第2号)

事業勘定では歳入歳出

それぞれ8百73万8千円

追加するもの。

直診勘定では歳入歳出

それぞれ3百70万円減額

するもの。

議案第42号

平成29年度東京都神津島
村農業集落排水特別会計
補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ7万
5千円減額するもの。

議案第43号

平成29年度東京都神津島
村介護保険事業特別会計
補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ34万
2千円追加するもの。



◎ 一般質問 ◎

4番 中村親夫議員



◎新清掃センター建設延期に伴う今後の考え方について

質―4番 中村親夫君

平成28年度の重点施策、環境衛生事業における塵芥処理事業、新清掃センターについては、平成29年度で用地造成、平成30年度から31年度で施設整備を完了、平成32年度からの供用開始を計画していた。工事中工予定が入札不調となり、3年延期になったため、起債借入が無くなる。向こう3年間、財源に余裕ができたから財政調整基金に充てるのか、重点施策である農業・漁業・観光等の

拡充・強化を図るのか。

答―村長 浜川謙夫君

新清掃センター建設に係る廃棄物債の借入れはなくなる。自主財源ではなく、借金。事業がない限りはお金を借りることはない。決して財源の余裕ということではない。

漁業関係は、既設のパイプラインの代替施設整備の予定があり、村もそのような計画があれば支援する。また、地域おこし協力隊の漁協へのマンパワーの提供も予定。観光は、赤崎遊歩道において台風21号の災害箇所改修。57人乗りの村営バスの追加。

農業に関しては農道の改修による通行の安全確保を図り、一方通行の解除に向け協議を行なっている。

質―4番 中村親夫君

現在使用している清掃センターは建設から20数年経過。一般的なごみ焼却施設は供用年数が20〜25年程度で廃止している施設が多い。現在使用している清掃センターは今後5年程度使用可能なか。

答―村長 浜川謙夫君

清掃センターの保守点検を行っている管理業者からは使用可能との報告を受けている。今後5年以上焼却施設を使用可能な状態に保つために、計画的・経済的な焼却施設の維持管理を図っていく。

◎来島客増加について

質―4番 中村親夫君

神津島の来島客は最近四、五年で4万人を推移。平成29年の来島客は10月末で4万2,649人。11月、12月の前年並みの

来島客を見込むと、平成29年は4万6,700人。前年より5,000人強

の来島客の増加は、村と観光協会が連携強化を図り、来島客の大幅な増加につながったと考える。

答―村長 浜川謙夫君

来島客増加の要因は、観光協会での星空ガイド育成、星空ツアー、百観音ツアーなど、新たな企画実施。中部・東海圏へのアプローチ、村においては伊豆諸島ウオークin神津島の実施や郷友会、友好都市の長野県佐久市からの佐久子道場の受け入れにより、来島客の増加を図った。村と観光協会は定期的な連携会議を実施し連携を図っている。

また島旅のプロが推奨する100の島々、日本百名島の旅、1位が長崎県五島市福江島、2位が北海道の礼文島、3位が東京

都の神津島が選ばれている。

神津島のSNS発信、東京都観光財団や東海汽船等による各種施策、外国人客の増加などにより増となった。

◎離島留学の現状について

質―4番 中村親夫君

離島留学の手応え、学生寮の運営について

答―教育長 石野田博文君

1年目は3名、2年目は4名の応募があった。今年度は一気に増え20名の応募。平成30年度は4名を受け入れる予定。男子は学生寮、女子はホームステイで考えている。学生寮は寮長を中心に運営。食事等の賄い人も応募者があり、面接等の実施を予定。



◎ 一般質問 ◎

2番 鈴木 佑典 議員



◎ 空き家対策について

質―2番 鈴木佑典君

空き家バンクに登録されない現状、倒壊の恐れがある空き家など、空き家対策について

答―村長 浜川謙夫君

◎ 移住定住受入れづくり、空き家対策、人口流出について

質―2番 鈴木佑典君

即入居できる空き家、または軽微補修で入居可能な空き家で所有者が賃借を了承するものだが、村内には残されていない。分類2、入居可能だが、帰省時に使用、所有者が賃貸を望まない、契約成立が困難。

移住希望者の住まい確保のため、村が宿の部屋を一定期間借り上げて貸し出すシステムを構築するよう、今年度より空家バンクを立ち上げているが住居確保が困難。仕事情報の提供など、民間、行政ができる範囲を線引きしながら考え、今後さらに住居の確保、雇用、よりよい生活環境とその創出と情報提供を考えていく。

分類3、居住不可能危険家屋、それに近い状態、所有権、所有者の経済的な問題等、解決が困難。方策として、池の山住宅と同程度の公営住宅新設。10戸程度準備を進め、



既存の住宅1棟の供用廃止を検討、実現すれば10戸中5戸は既存の住宅から移動し、5世帯の確保が可能。公営住宅法の所得基準見直しも考慮。分類3に該当する危険住宅解消に向けて努力し、周辺住民への危険な状況となれば行政代執行となるが、判断基準の難しさ、財政圧迫など村事業としては避けたい。空き家バンク制度について、事業委託が可能であれば、将来的に民間委託しマッチング拡大を図る。空き家バンク制度の空き家解消実績は3件。空き家バンク制度の仕組みをご理解頂き登録して頂きたい。

◎ 人口流出について

質―2番 鈴木佑典君

人口流失、子どもたちへの環境づくりについて

答―村長 浜川謙夫君

第4次総合整備計画、村政運営の基本目標「子供たちの明日が輝く」と掲げ、島の将来を担う子供たちに島内での活躍が理想。

帰島時の受け皿について、一時預かり事業・延長保育・2歳児保育事業・しま小屋・学童クラブ・保育料、医療費無料化等、将来、子供を持つ世代の支援をする。

今後の予定は、2歳児保育を拡充、奨学金の減免枠拡大。

神津島ブランド・郷土愛については、盛り上げ隊による観察会、自然体験授業など。小学校では伝統芸能の演目披露などによる伝統文化伝承。交



議会現場視察

平成30年1月5日、毎年恒例の村内主要公共工事の現場視察を行った。

神津島村議会現場視察箇所一覧

- 村道121号線道路新設工事 (村)
- 神津島村橋梁改修工事(やよい橋) (村)
- 神津島村学生寮建設工事 (村)
- 桑沢地区造成整備工事 (村)
- 新清掃センター敷地造成工事 (村)
- 最終処分場搬入路整備工事 (村)
- 神津沢砂防工事 (支庁)
- はまゆう保育園改修工事 (村)
- 神津島港防波堤(西)建設工事及びその他工事 (港湾)
- 歩道設置工事(惣四郎) (支庁)
- 三浦漁港避難誘導施設法面防護建設工事 (港湾)
- 神津島空港着陸帯及びその他改修工事 (港湾)
- 中学校校庭夜間照明設置工事 (村)



◎神津島村学生寮建設工事◎



◎中学校校庭夜間照明設置工事◎

議会日誌

平成29年

9月12日 平成29年第3回定例会(13日閉会)

15日 神津島村敬老会

17日 やすらぎの里敬老会

23日 神津高校授業公開

30日 中学校運動会

10月3日 小笠原村議会議員来島 行政視察・懇親会

18日 小学校運動会

24日 第28回東京都道路整備事業推進大会

29日 奥多摩町・神津島村友好交流協定締結式・祝賀会

11月8日 議会だより編集委員会(174号)

平成29年第3回定例会会議録署名

9日 平成29年第2回臨時会

10日 佐久市農業祭(11日まで)

21日 第36回神津島振興市町村議会議長全国大会

22日 第61回町村議会議長全国大会

東京都町村議会議長会決算監査

23日 神津島商工業まつり物産展

神津島村・奥多摩町友好交流祝賀会

25日 伊豆諸島ウォークin神津島

28日 島嶼町村会及び議長の合同要望活動

12月1日 平成29年第4回定例会議会運営委員会

編集後記

気 象庁の定義で春一番は、立春から春分までの間に初めて吹く南寄りの強い風と言われている。やさしい春の訪れの風と感ぜられませんが、古くから海難事故などがあり、長崎県地方で漁師らがこの強い風を「春一」と呼び警戒する慣習が生まれ、これが「春一番」の由来のようです。

この編集後記が村民の皆様には神津島にも春一番が吹いていると思えます。

さて12月5日に行われた第4回定例会議では高校1年生16名と引率教員2名が議会での一般質問を傍聴しました。高校生が議会での一般質問を傍聴してどのように感じられたか興味のあるところである。

一般質問は行財政全般にわたって、執行機関に質問を行うもので、定例議会のみに行われ、政策に取り組み、政策に生きるべき議員にとつて、最もはなやかに意義のある発言の場であり、大事な議員活動の場でもある。ややもすれば議会が執行機関の追従機関になって、行政となれ合いになってしまいう危険性がある。行政と議会との緊張感を保つためにも議員が一般質問に立つことは意義深いことである。

「議会だより」編集委員会一同

- 委員長 中村 親夫
- 副委員長 鈴木 佑典
- 委員 石田 高道
- 委員 松江 孝雄